

2020年12月期 通期決算説明会

GMO AD PARTNERS

STOCK CODE: 4784

代表取締役社長 橋口 誠

常務取締役 菅谷 俊彦

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

事業トピックス

5

今後の成長戦略

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

事業トピックス

5

今後の成長戦略

連結業績

売上高	:	34,519	百万円	前年同期比:	99.9%
営業利益	:	365	百万円	前年同期比:	82.0%
経常利益	:	573	百万円	前年同期比:	113.4%
最終利益	:	260	百万円	前年同期比:	108.4%

エージェンシー事業

大手顧客向け広告事業は、デジタルシフトが加速し、通期の粗利が前年を超える
SMB向け事業は、計画通りも前年に届かず

メディア・アドテク事業

自社アドテクを中心として前年対比で伸長
ネット利用時間増など市況も追い風

通期に対する進捗

営業利益・経常利益は業績予想を上回る結果

売上高は前年同水準も、来期に向けたシステム開発・人財投資を実行し、
利益は前年同期を下回る

(百万円)

	2019年 10-12月	2020年 10-12月	前年比
売上高	8,758	8,895	101.6%
営業利益	165	43	26.1%
経常利益	199	38	19.1%
最終利益	43	▲ 136	-

営業利益はオフィス移転による影響。通期予想を上回って着地

経常利益は上期のファンド収益が寄与し増益。売上高は前年同水準

(百万円)

	2019年 1-12月	2020年 1-12月	前年比
売上高	34,538	34,519	99.9%
営業利益	445	365	82.0%
経常利益	505	573	113.4%
最終利益	240	260	108.4%

営業利益・経常利益は昨年11月開示の修正予想を上回る

特別損失計上のため最終利益は11月予想下回るも、期初予想超え

	①期初予想	②7月修正	③11月修正	④今通期実績	差額(④-③)	進捗率	(百万円)
売上高	36,000	36,000	36,000	34,519	▲ 1,480	95.9%	
営業利益	280	280	330	365	+35	110.7%	
経常利益	320	432	550	573	+23	104.2%	
最終利益	200	300	410	260	▲ 149	63.7%	
1株当たり 配当金	6.3 円	6.3 円	12.8 円	*8.2円	▲4.6円	-	

出資先のGMOタウンWiFi社(フリーWiFi自動接続アプリ提供)の株式を減損処理

年末の新型コロナウイルス感染再拡大により事業計画の見直し実施

※上記④の1株当たり配当金については、見通しを記載

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

事業トピックス

5

今後の成長戦略

リモートワーク活用により営業活動費等約1億円コスト減

	2019年 1-12月	2020年 1-12月	前年比	(百万円)
売上高	34,538	34,519	99.9%	
売上原価	28,442	28,586	100.5%	
売上総利益	6,096	5,933	97.3%	
（売上総利益率）	17.7%	17.2%	▲ 0.5Pt	
販売費及び一般管理費	5,650	5,567	98.5%	
（販管費率）	16.4%	16.1%	▲ 0.3Pt	
営業利益	445	365	82.0%	
（営業利益率）	1.3%	1.1%	▲ 0.2Pt	
経常利益	505	573	113.4%	
当期純利益	240	260	108.4%	

	2019年 12月末	2020年 12月末	前期末比 (百万円)
流動資産	8,860	8,771	99.0%
現金及び現金同等物	4,050	5,011	123.7%
固定資産	2,420	3,125	129.1%
資産合計	11,280	11,897	105.5%
流動負債	5,414	5,823	107.5%
固定負債	677	694	102.3%
負債合計	6,092	6,515	106.9%
純資産	5,188	5,381	103.7%
(純資産比率)	46.0%	45.2%	▲ 0.8Pt

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

事業トピックス

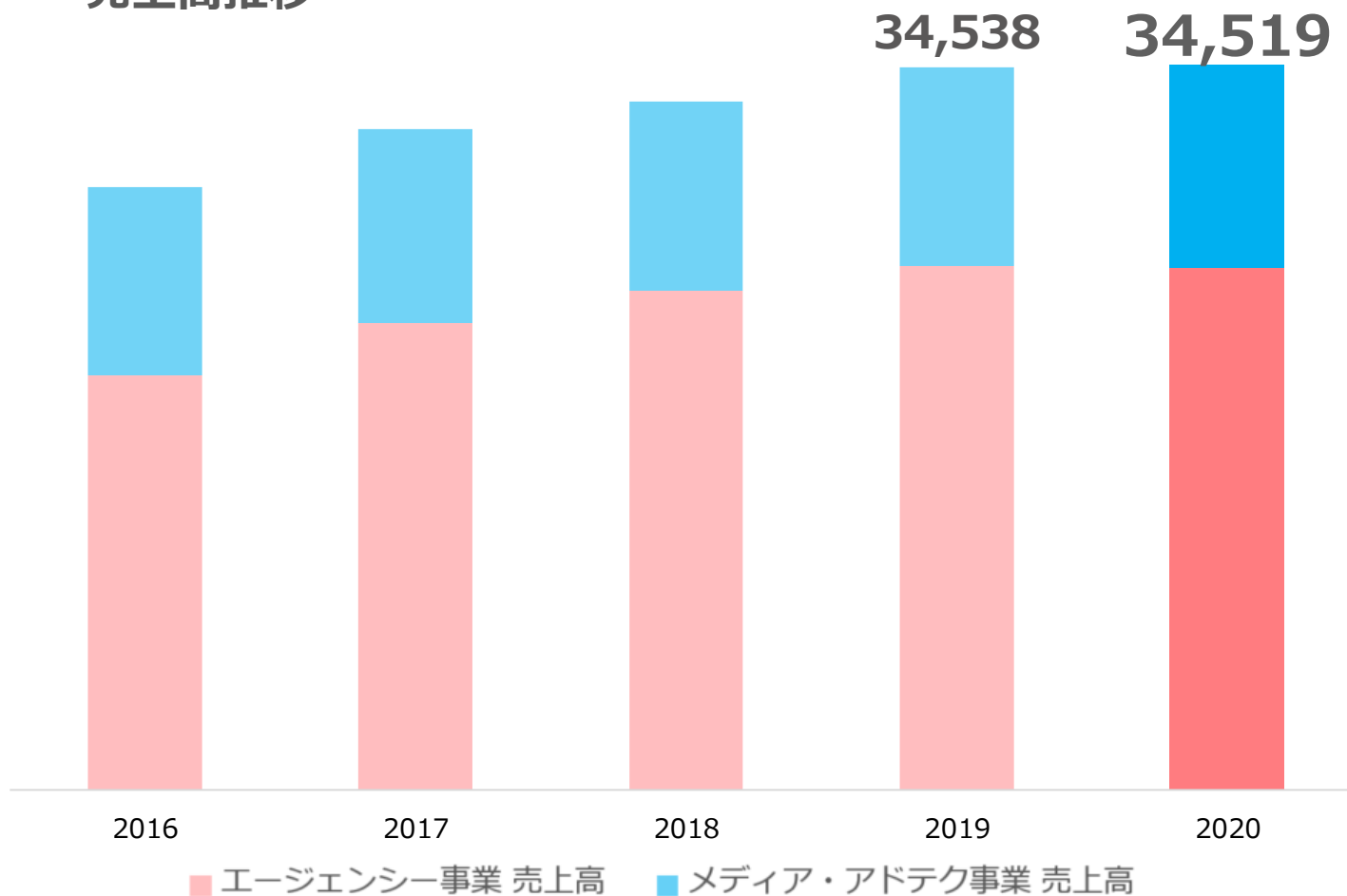
5

今後の成長戦略

新型コロナにより一部顧客が影響受けるも好調業種への拡販によりカバー、ほぼ前年同水準で着地

売上高推移

(百万円)



前年同期比売上高(通期)	99.9%
通期業績予想進捗	95.9%

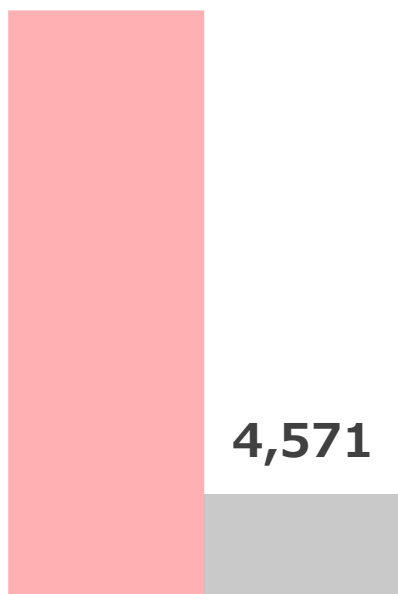
エージェンシー事業：大手顧客向けは粗利前年超え。SMB向けは計画通りの結果ではあるものの前年下回る

メディア・アドテク事業：ネット滞在時間増加により事業伸長し、前年を超える

エージェンシー事業

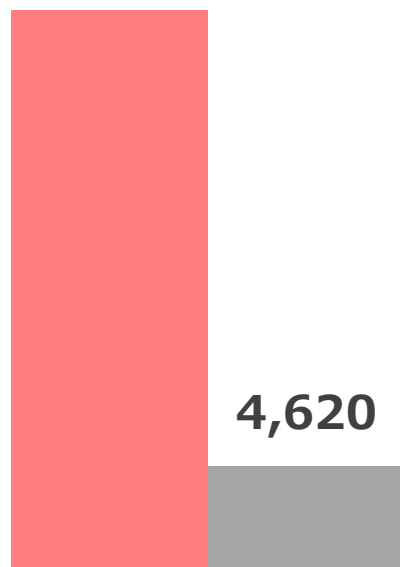
前年同期比売上高(通期)	95.5%
前年同期比粗利(通期)	101.1%

26,151



2019通期

24,965

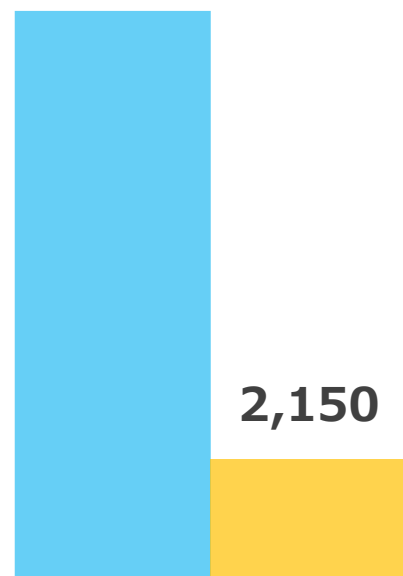


2020通期

メディア・アドテク事業

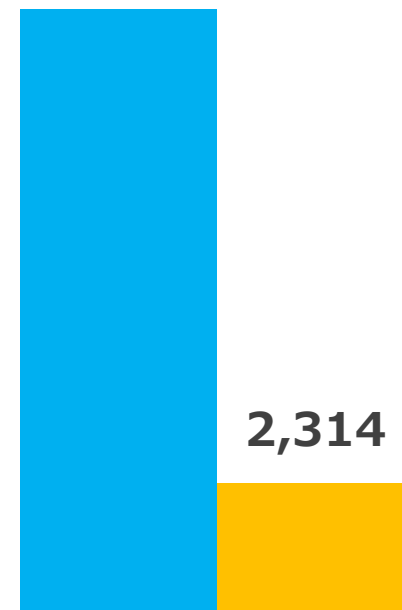
前年同期比売上高(通期)	106.1%
前年同期比粗利(通期)	107.7%

10,134



2019通期

10,757

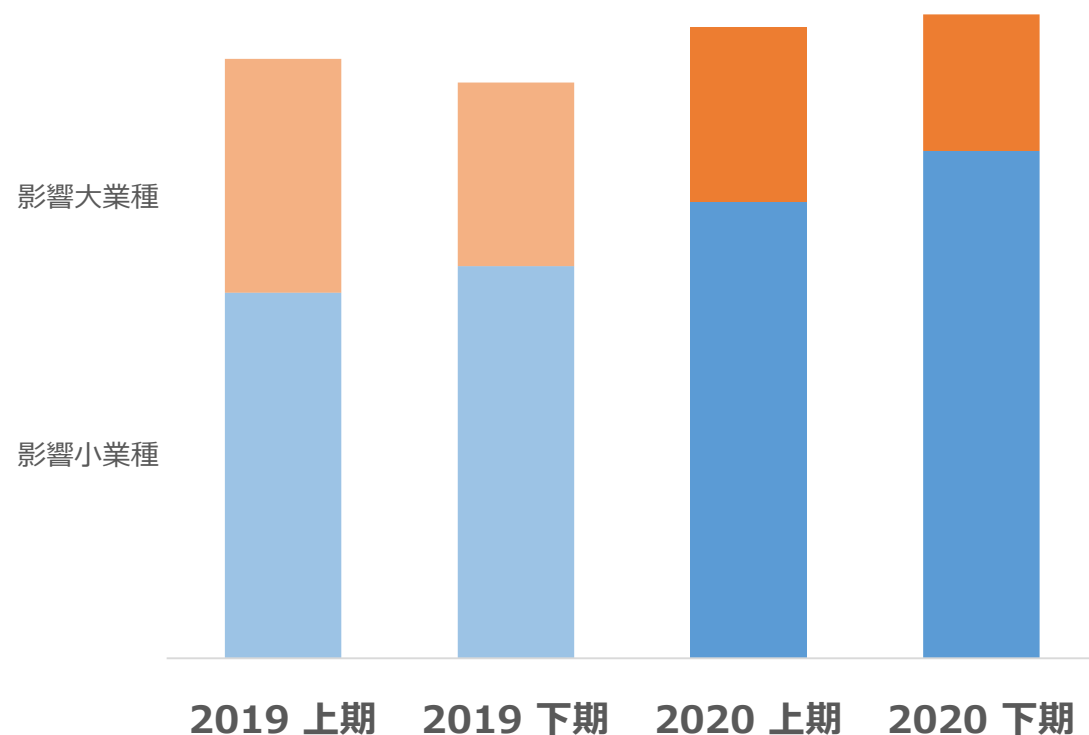


2020通期

(百万円)

※今期補足資料より、本ページにおける売上総利益の計算を「売上高－仕入高」に変更し「粗利」と表記しております。

新型コロナの影響が少ない業種へ注力することで、粗利は前年を超える



新型コロナの影響小さい業種の粗利

119.7%

(前年比)

取引規模大きい好調業種の粗利が伸長し、
大手向けとしては粗利前年同期超え

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

事業トピックス

5

今後の成長戦略

アフィリエイト広告サービス「TRUE Affiliate」でアフィリエイトメディアへのリーチが拡大

ブランドセーフティサービス
(AIによる自動解析)



広告主のブランド保護

多くのアフィリエイトメディア
への広告配信



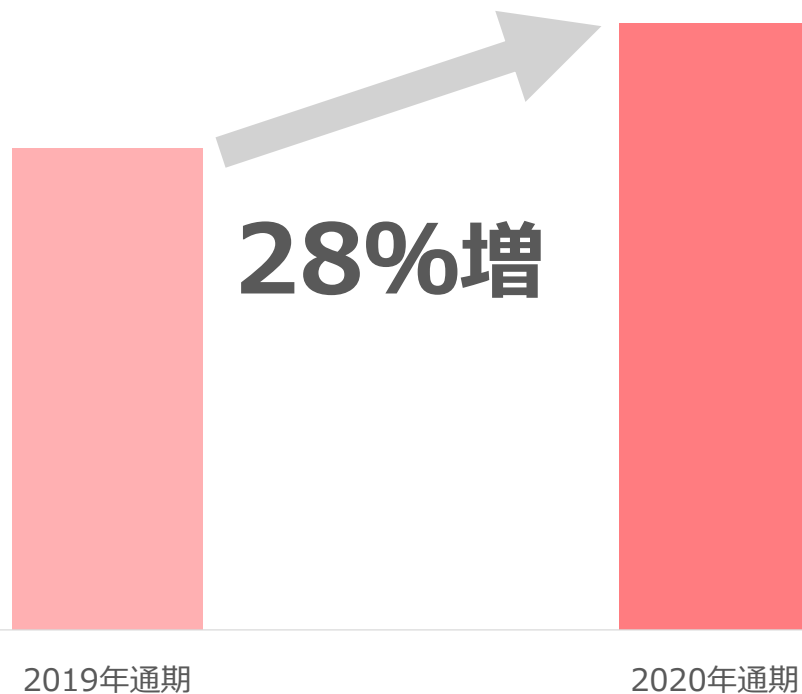
広告主の収益拡大



自社商材の売上高は前年を大きく上回る

第3四半期以降、外出自粛によるネット利用時間増は一服も好調

AkaNe byGMO ReeMo byGMO GMO SSP



AkaNe・ReeMo・GMO SSPの売上(合算)推移

2020年総括

- ・外出自粛によるネット利用時間増加で売上高増加
- ・ヘッダービディング導入
- ・Cookieレスターゲティングの開発強化

1

結論と要約

2

決算概要

3

事業概況

4

事業トピックス

5

今後の成長戦略

エージェンシー事業

マーケティングのデジタル化がさらに進む
多様な広告プラットフォームの総合的な運用需要が増加



DX・動画広告等市場のトレンドに沿った提案力強化

メディア・アドテク事業

外出時間の制限によりネット滞在時間増加
新たな広告配信技術への関心高まる



Cookieレスターゲティングの技術力強化

各事業は伸長し、増収増益を予想

経常利益は前年のファンド収益の影響を考慮し、減少予想

	2020年 1-12月	通期業績 予想	前年比	(百万円)
売上高	34,519	35,500	102.8%	
営業利益	365	410	112.2%	
経常利益	573	400	69.8%	
当期純利益	260	280	107.3%	

2020年12月期の1株あたり配当金は8.2円の見込み

当期も配当性向50%を目標に、継続的な株主還元を目指す

	2019年 実績	2020年 見通	2021年 予想
当期純利益	240百万円	260百万円	280百万円
1株当たり 配当金	7.5円	8.2円	8.8円
配当性向	50.3%	50.4%	50.4%
株主優待	あり	あり	あり

本資料取扱い上のご注意

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2021年2月9日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に引用しております各社商標、著作物等知的財産権、並びに肖像権その他一切の権利は、当該知的財産権を有する各権利者並びにその権利の主体に帰属します。